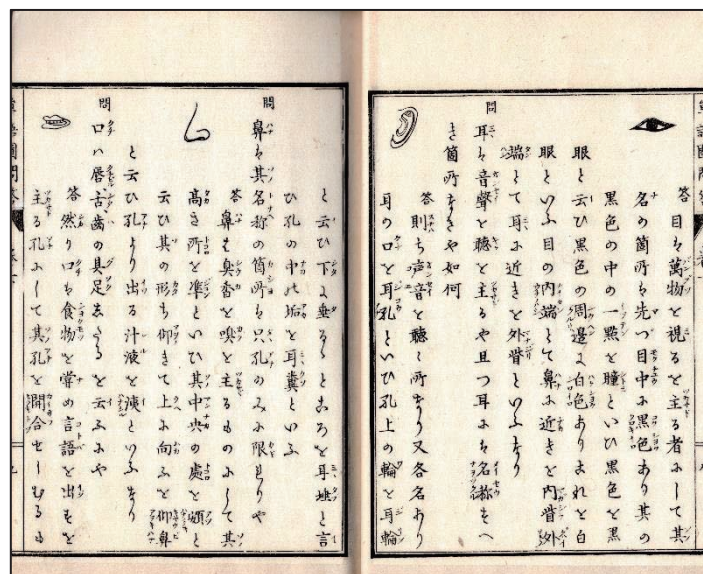


- 51.『全体新論』合信(清代) 陳修堂共撰
須原屋茂兵衛 安政 4(1857) 661-12
- 52.『重訂解体新書 銅版全図』キュルムス著 杉田玄白新訳
大槻玄沢重訂 河内屋勘助 天保 14(1843) 661-2
- 53.『布列私解剖図譜』中定勝(欽哉)訳述
松田正助 明治 5(1872) 661-20
- 54.『古事類苑』神宮司片
明治 29-大正 3(1896-1914) 朝日 023-1



34.『単語図問答』

2006 年 12 月に採択された「障害者の権利に関する条約」に「手話は言語である」ことが明記されたが、かつては様々な差別の歴史があった。

- 55.『ろう者の生活と権利を守る会 創立 50 周年記念誌』
ろう者の生活と権利を守る会 2018.10

大阪府は 2017 年 3 月 24 日にいわゆる手話言語条例を可決した。行政との事業提携協定を含む内容の条例は全国初である。
2018 年は手話言語の国際デー(9 月 23 日)の初年であった。

- 56.『第 66 回全国ろうあ者大会 in 大阪 [記念誌]』
第 66 回全国ろうあ者大会実行委員会 [2018]

2018 年 6 月 7 日から 6 月 10 日まで、全国ろうあ者大会が 45 年ぶりに大阪で開催された。参加者は 4563 名であった。

- 57.『第 66 回全国ろうあ者大会 in 大阪 速報』

【参考文献】

- 『大阪市立聾学校創立 75 年記念誌』大阪市立聾学校
大阪市立聾学校創立 75 周年記念誌編集委員会 1975 198.8-53#
- 『創立 115 周年記念誌 大阪市立聾学校いつまでも』
大阪市立聴覚特別支援学校 [2016] 378.2-367N
- 『大阪府教育百年史』大阪府教育委員会 1971-1974 372.1-229N
- 『大阪の学問と教育』小島吉雄著者代表 毎日放送
1973.11 033-143#
- 『「大阪の学校」草創期を読む』辻本雅史講話
ブレーンセンター 2015.4 372.1-795N
- 『大阪府の教育史』梅溪昇編著 思文閣出版 1998.2 372.1-332N
- 『学制百二十年史』文部省[編] ぎょうせい 1992.11 372.1-131N
- 『かくれスポット大阪 [正]・続』吉村智博著 解放出版社
2013.11・2015.3 291.63-1639N
- 『図説教科書のあゆみ 学制発布 100 年』海後宗臣[ほか]編
日本私学教育研究所事業委員会 1971 193.5-215#
- 『特殊教育百年史』文部省[編] 東洋館出版社 1978.11 197-287#
- 『ビジュアル大阪の学校ものがたり 教育と地域』
大阪人権博物館 2009.9 372.1-650N
- 『盲聾教育八十年史』文部省[編] 日本図書センター 1981 197.1-43#
- 『聾歴史研究 74 号・75 号』近畿聾史研究グループ
2017.5・2017.9 *中央図書館所蔵

大阪の教育と人



27.『開化近道子宝』より「小学校に教師 生徒に地球の自転を示す図」

近世から近代にかけての教育風景を^{かえり}顧みながら、大阪の近代教育と教育を支えた人について当館所蔵資料でたどります。

特に、ろう教育者・高橋^{きよし}潔の没後 60 年に寄せて、大阪のろう教育を取り上げます。

日 時 平成 31 年 1 月 16 日(水)
から 2 月 27 日(水)

平日 9 時から 20 時まで
土曜日 9 時から 17 時まで
休館日 日曜日・祝日(2 月 11 日)

会 場 大阪府立中之島図書館
3階展示室 入場無料



29.『学校用書籍(引札)』

平成31 年 1 月発行 編集・発行 大阪府立中之島図書館

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/nakato/>



@osaka_pref_lib

※この展示は大阪府立中之島図書館と指定管理者(株)アスウェルとの共同企画によるものです



おもな展示資料

各資料の記載は、書誌事項(書名・著者・出版者・出版年等)、当館請求記号です。

読む・書く・学ぶ

- 『和漢三才図会略』 寺島良安編 大野木市兵衛
正徳 3(1713)序 石崎 022-2
- 『難波職人歌合』 黒沢翁満輯 萬温堂
嘉永 7 年(1854) 224.7-78
- 『大全新童子往来』 校正増益 暁鐘成編・画
西川龍章堂書再版 近江屋平助 嘉永 5 年(1852)
190-148
- 『一掃百態』 渡邊登著 渡邊諧 明治 17(1884)
914-100
- 『学制頒布五十周年記念帖』 福井佐一郎編輯
福井佐一郎 大正11(1922) 376.2-40N
- 『商売往来画抄』 槐亭賀全編 吉田屋文三郎
190-202



6. 『商売往来画抄』

- 『絵入智慧の環』 古川正雄著 再版 岡田屋嘉七
明治6(1873) 190-102
- 『女手習教訓書』 森屋治兵衛 文政 12(1829)
190-150
- 『絵本栄家種』 勝川春潮画 風俗絵巻図画刊行会
大正 5(1916) 571-48

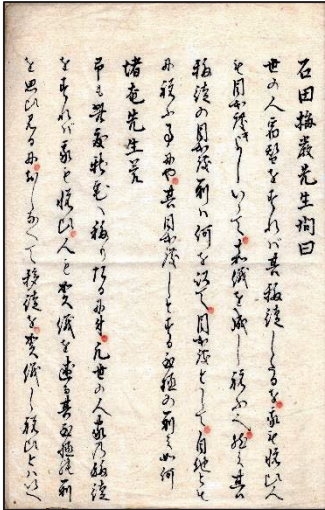


9. 『絵本栄家種』

- 『世話字往来』 藤岡屋慶次郎 190-174
- 『女用都名所』 めとぎ屋宗八 文化 12(1815)
190-94
- 『御家 女今川』 橘正敬書 菱屋治兵衛
文化 9(1812) 190-62

近世大阪の教育者

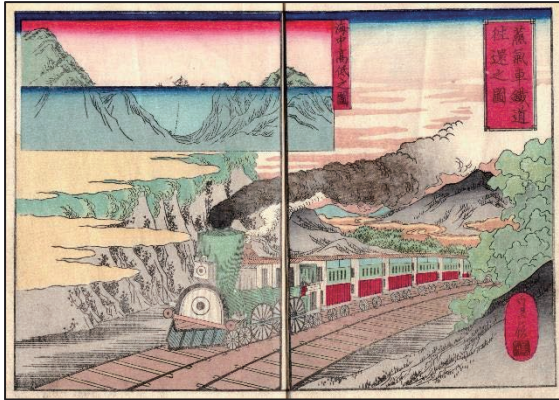
- 『摂津名所図会』 秋里籬畠著述
竹原春朝斎図画 小川太左衛門
寛政 8-10(1796-98) 石崎 378-2
- 『とはすかた里』 中井誠之(甕庵)
敦賀屋 寛政 3(1791) 041-346
- 『石田梅巖先生問堵庵先生答』 手島堵庵編
中西-461



- 『石田梅巖先生問堵庵先生答』 660-14

教科書

- 『千字文画抄』 吉田屋文三郎 190-146
- 『世話千字文』 菊屋七郎兵衛 190-116
- 『小学生徒必携』 杉景俊閔正 松川半山注解・画
辻本九兵衛 明治 8(1875) 193.2-32
- 『和英以呂波手習文』 狭川峯二(一荷堂半水)編
190-86

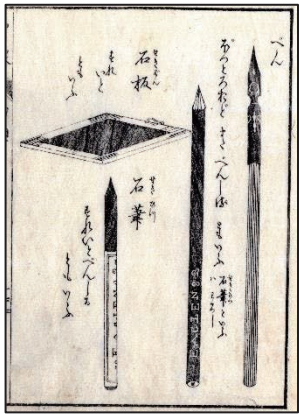


23. 『窮理早合点』

- 『窮理早合点』 鳥山啓著 長谷川貞信画
秋田屋太右衛門 明治 5 序(1872) 190-126
- 『小学会話之捷径』 井出猪之助著 文敬堂
明治 7(1874) 190-60
- 『窮理新説』 矢須河通済著 松村九兵衛
明治 6(1873) 190-134
- 『窮理智恵の海』 岡本喜八郎著 書籍会社
明治 6(1873) 190-128
- 『開化近道子宝』 松川半山著 岡田茂兵衛
193.5-34
- 『万国地誌略』 井出猪之助編
浅井吉兵衛 明治 8(1875) 193.5-42
- 『学校用書籍(引札)』 広瀬楓斎画
茨木東大町虎谷誠々堂 [明治年間] 大和銀-86

文房具

- 『文明 新消息往来』
小川九平 明治 7(1874)
190-80
- 『習字私用文章』
黒田行元(麴廬)著
石田忠兵衛
明治 6(1873) 190-138



7. 『絵入智慧の環』

- 『通常物図解問答』 小林菊三郎編 黒川玉泉画
今井七郎兵衛 明治 14(1881) 190-82
- 『単語図問答』 柁木正太郎註解 華井卯助
190-140

学校制度あけぼの

- 『大阪府告諭』 大阪府 明治 5(1872) 328-198
- 『大阪府告諭』 大阪府 明治 6(1873) 328-198
- 『大阪府布令』 大阪府編 大阪府 明治 8(1875)
328-230
- 『学問の心得』 堺県学 明治 5(1872) 190-74
- 『育英新編』 石村貞一編 松村九兵衛
明治 6-7 序(1873-1874) 190-118
- 『学問ノススメ』 福沢諭吉 福沢氏
明治 6-7(1873-1874) 朝日 560.1-1

大阪のろう教育

世界的に手話よりも口話が優れているとされた時代に、生徒の適性に合わせて、必要な生徒には手話を用いた教育を続けた高橋潔が大阪にいた。その教育方法は ORA システムと呼ばれる。

- 『五代五兵衛』 五代五兵衛頌徳会 1937
352-3085#
- 『創立 100 周年記念誌』 大阪市立聾学校記念誌
委員会編集 大阪市立聾学校 2000.9
378.2-170N
- 『手話讃美 手話を守り抜いた高橋潔の信念』
高橋潔[著] 2000.10 378.2-150N
- 『大曾根源助 日本の指文字の考案者』
学校史研究活動グループ制作
大阪府立中央聴覚支援学校 2017.1 J289-911N
- 『Mimi 159 号』 全日本ろうあ連盟 2018.3
P36-606N

辞書に見る ^{しゅせい}手勢

かつてろう教育界では、身振りを表す「手勢」という語が使われていた。

- 『名物六帖』 伊藤長胤(東涯)纂輯
河内屋和助 享保 11(1726)序 022-32
- 『説郛』 陶宗儀編 商務印書館 民国 16(1927)
036-180
- 『説郛』 陶宗儀編 順治 4(1647)序 036-32
- 『古今説海』 陸楫編 道光元(1821) 036-42
- 『雑字類編』 柴野邦彦(栗山) 柴野貞毅編
瀬尾源兵衛 天明 6(1786) 石崎 276-1